

各自治会・町内会長様

横浜市環境創造局

みどりアップ推進課長 相場 崇

横浜市財政局

税務課長 吉富 浩政

横浜みどりアップ計画[2019-2023] 2019 年度実績概要版リーフレット作成のご報告について

横浜みどりアップ計画につきましては、平成 21 年度から、横浜みどり税を財源の一部として活用させていただきながら、推進しています。令和元年 4 月からは 3 期目となる新たな 5 か年計画に取り組んでいるところです。

このたび、2019 年度を振り返り、取組の成果を事業報告書にまとめましたのでご報告いたします。報告書は、公共施設等で閲覧ができます。また、概要版のリーフレットと、横浜みどり税のチラシについては、市連会及び区連会での説明後に、単位自治会町内会長あてに送付させていただきます。

今後も、「横浜みどりアップ計画」を着実に推進してまいりますので、御理解・御協力をよろしくお願い申し上げます。

【配布資料】

- 1 横浜みどりアップ計画[2019-2023]
2019 年度の実績概要版リーフレット【別紙 1】
- 2 横浜みどり税のチラシ【別紙 2】
- 3 【参考資料】2019 年度区別実績【別紙 3】



【別紙 1】



【別紙 2】

*別紙 1「2019 年度の実績概要版リーフレット」及び別紙 2「横浜みどり税のチラシ」については、例年、各自治会・町内会の皆様へ班回覧をお願いしておりましたが、新型コロナウイルスの影響により回覧が中止されています。PR ボックス、市役所及び区役所の窓口等への配架は例年通り行います。

【問合せ】

□横浜みどりアップ計画の実績に関すること

環境創造局みどりアップ推進課 TEL: 671-2712 FAX: 224-6627

□横浜みどりアップ計画に関すること

環境創造局政策課 TEL: 671-4214 FAX: 550-4093

□横浜みどり税に関すること

財政局税務課 TEL: 671-2253 FAX: 641-2775

森づくりボランティアに登録しよう!

横浜の豊かな森は、市民の皆様の森づくり活動により守り育まれています。
森づくりボランティアの活動を通じ、一緒にこの森を次世代に引き継いでいきませんか?

対象者

- 事業の趣旨に賛同する18歳以上の方で、次のいずれかに該当する方。
- ・ 横浜市内に在住、在学または在勤の個人または市内事業者である方
 - ・ 市内の樹林地で森づくり活動を行う予定のある方

※登録費用はかかりません

登録すると・・・

こんな研修が受けられます

- ・ 森づくりボランティア入門講座
- ・ これも覚えよう30種!シリーズ

こんな森づくりの情報が届きます

- ・ 森づくり体験会のお知らせ
- ・ よこはまの森ニュースレター



ウェルカムセンターでの自然観察会の様子(栄区)



森づくり体験会(金沢区)

詳しくは

横浜 森づくりボランティア

検索

※研修プログラムは変更になる場合があります。
事前にHPでご確認ください

横浜の森や農の恵みを体感しよう! ウェルカムセンターでお待ちしております

森の情報を発信し森の魅力を伝える
「ウェルカムセンター」を市内5か所で運営しています。

- 寺家ふるさと村 四季の家【青葉区】
- 新治里山公園 にいはる里山交流センター【緑区】
- 環境活動支援センター交流スペース【保土ケ谷区】
- 舞岡ふるさと村 虹の家【戸塚区】
- 横浜自然観察の森自然観察センター【栄区】

詳しくは 横浜 ウェルカムセンター

検索

横浜みどりアップ計画市民推進会議の活動

- 「横浜みどりアップ計画市民推進会議」は、「横浜みどりアップ計画」の評価・提案及び市民の皆様への情報提供等を目的に組織され、公募市民や学識経験者などから構成されています。
- 横浜みどりアップ計画の取組の検証や、現地調査を行い、評価・提案を報告書にまとめているほか、広報誌「みどりアップAction」を発行しています。

詳しくは 横浜みどりアップ計画市民推進会議

検索



全体会議の様子



広報誌「みどりアップAction」



お問い合わせ先

横浜みどりアップ計画

検索



「横浜みどりアップ計画」について

環境創造局政策課

TEL.045-671-4214 FAX.045-550-4093

「横浜みどりアップ計画」の各事業について

環境創造局みどりアップ推進課

TEL.045-671-2712 FAX.045-224-6627

「横浜みどり税」について

各区役所税務課または財政局税務課

TEL.045-671-2253 FAX.045-641-2775

令和2年10月発行 横浜市環境創造局みどりアップ推進課

横浜みどり税を財源の一部に活用

横浜みどりアップ計画 [2019-2023]

2019(令和元)年度の実績 概要版



緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」を進めています。
このリーフレットは、2019(令和元)年度の実績の概要です。

横浜みどりアップ計画





計画の柱1

市民とともに次世代につなぐ森を育む

樹林地の保全

- ・緑地保全制度に基づく指定により樹林地の保全が進展(47.2ha)
- ・相続等、不測の事態に対応した樹林地の買取り(19.2ha)



新規指定した緑地保存地区(南区)



土地の買取りをした近郊緑地特別保全地区(金沢区)



良好な森の育成

- ・愛護会などと連携して維持管理を実施(175か所)
- ・指定した樹林地で土地所有者が行う維持管理を支援(122件)



維持管理を実施した樹林地(泉区)

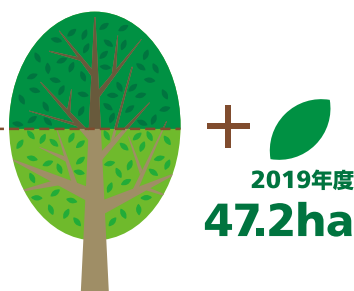
緑地保全制度による指定の実績

これまでのみどりアップ計画
(2009～2018年度)

10年間 905.6ha

みどりアップ計画以前
(1969～2008年度)

40年間 861.9ha



2019年度
47.2ha

森に関わるきっかけづくり・人材育成



よこはま森の楽校(緑区)



森づくり活動団体への専門家派遣(都筑区)



計画の柱2

市民が身近に農を感じる場をつくる

農景観の保全

- ・貴重な農景観である水田を113.5ha保全
- ・農地周辺の維持管理の取組への支援(641.7ha)や遊休農地の復元支援(0.84ha)などを実施



保全された水田(青葉区)



良好な農景観の維持(戸塚区)

農にふれあう場の創出

- ・様々な市民ニーズに合わせた農園開設の支援や整備を推進(3.86ha)
- ・市民が農を楽しむ体験教室(91回)等を実施



農園付公園(瀬谷区)



体験水田での田植え(青葉区)

地産地消の推進

- ・直売所や加工所に必要な設備の導入等を支援(11件)
- ・青空市・マルシェの開催等を支援(32件)
- ・人材の育成や、企業等との連携を推進

直売所・青空市等



横浜北仲マルシェ(中区)



みなとみらい農家朝市(西区)

人材の育成



はまふうどコンシェルジュ講座(座学)



はまふうどコンシェルジュ講座・直売体験(泉区)



計画の柱3

市民が実感できる緑や花をつくる

身近な花や緑を増やす取組

シンボリックな緑の創出

- ・土地利用転換の機会をとらえて用地を確保し、緑豊かな公園を整備(整備完了1か所、整備中1か所)
- ・市民に公開されている空間での緑化整備を支援(1か所)



六角橋四丁目公園(神奈川区)



病院屋上での緑化整備(鶴見区)

地域緑のまちづくり

地域の団体から緑化提案を公募し、緑化計画の策定・緑化整備を支援(新規:4地区 継続:12地区)



大倉山地区(港北区)



洋光台五街区周辺地区(磯子区)

花や緑に親しむ取組

- ・地域の様々な団体と花や緑に関するイベントを開催
- ・保育園や小学校などで緑を増やす取組を実施(緑の創出43か所)



平戸永谷川での花の植付け(港南区)



保育園の屋上園庭緑化(保土ケ谷区)

花や緑による賑わいづくり

都心臨海部などの多くの市民が訪れる場所において、花や緑による空間づくりや質の高い維持管理を集中的に展開(15か所)



里山ガーデン(旭区)



効果的な広報の展開

取組の内容や実績について、より多くのみなさまに知っていただけるよう、積極的な広報を展開

- 広報よこはまへの記事掲載
- 実績概要リーフレットの自治会・町内会回覧
- 電車・バスなどの交通広告
- イベントでのPR
- メールマガジンやSNSによる情報発信



電車の広告



イベントでのPR(保土ケ谷区)



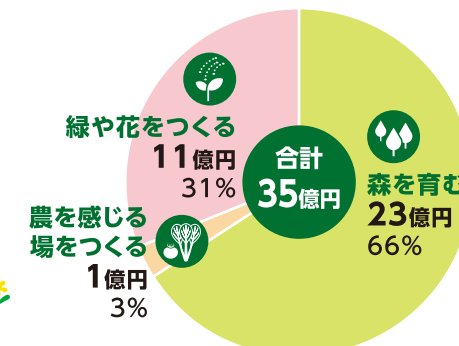
広報よこはま(区版)の特集記事掲載

事業費と横浜みどり税

2019(令和元)年度
事業費108億円のうち、
35億円の横浜みどり税を
活用させていただきました。



横浜みどり税の使い道



横浜みどり税の使い道

- 樹林地・農地の確実な担保
- 身近な緑化の推進
- 維持管理の充実によるみどりの質の向上
- ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

横浜みどり税の課税方式

- 個人 市民税の均等割に年間900円を上乗せ
※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く。
- 法人 市民税の年間均等割額の9%相当額を上乗せ

横浜みどり税

「横浜みどり税」は
「横浜みどりアップ計画」を進めていくために
ご負担いただいています。

緑豊かなまち横浜を次世代に継承することは重要な課題です。また、緑は一度失われると取り戻すことが困難です。

横浜市では、緑を守り、つくり、育む取組を進める「横浜みどりアップ計画」の重要な財源の一部として、平成21年度から市民の皆様にご負担いただいています。

いただいた「横浜みどり税」は、樹林地・農地の確実な担保、身近な緑化の推進などに活用しています。

横浜みどり税の
税額

個人市民税均等割に年間 **900 円** を上乗せ

※法人の場合は、年間均等割額の9%相当額を上乗せ

※課税年度は、令和5年度までです。

横浜みどり税の
使いみち

- 1 樹林地・農地の確実な担保
- 2 身近な緑化の推進
- 3 維持管理の充実によるみどりの質の向上
- 4 ボランティアなど市民参画の促進につながる事業



横浜みどりアップ 葉っぱー

横浜みどりアップ計画 [2019-2023]

横浜みどりアップ計画



計画の理念

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

5か年の目標

- ・緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
- ・地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
- ・市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します



計画の柱1

市民とともに

次世代につなぐ森を育む

5か年の主な取組

- 300haの樹林地を新規指定
- 指定した樹林地における維持管理の支援
- 森に関わるきっかけとなるイベントや広報を実施



保全した市民の森

計画の柱2

市民が身近に

農を感じる場をつくる

5か年の主な取組

- 水田の継続的な保全を支援
- 様々な農園を開設するなど、農とふれあう機会を提供
- 市民や企業と連携した地産地消の推進



保全した水田

計画の柱3

市民が実感できる

緑や花をつくる

5か年の主な取組

- 地域で愛されている並木を再生
- 地域緑のまちづくりや地域に根差した各区での取組を推進
- 緑や花による魅力ある空間づくりを推進



魅力ある空間づくり

この3つの計画の柱と合わせ、効果的な広報の展開に取り組みます



森林環境税（国税）と横浜みどり税



Q 国の森林環境税と横浜みどり税はどう違うの？



目的と使いみちが異なります。

森林環境税は、林業が成り立たない地方の山間部の森林整備や、国産木材の利用促進を主な目的として創設されました。横浜市では、木材利用の推進を図るほか、今後本格化する学校建替事業の財源として活用していきます。

横浜みどり税は、市内の緑の保全・創造を目的としたものであり、樹林地の買い取りや、まちなかでの緑の創出などに活用しています。森林環境税と横浜みどり税は、目的と使いみちが異なります。

●森林環境税（国税）・森林環境譲与税について

趣旨(目的)	わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るための地方財源を安定的に確保するため
課税手法・税率	年間 1,000 円を個人住民税と併せて賦課徴収
課税期間	令和 6 年度から
市町村への譲与	国が令和元年度から一定の基準で譲与（令和 6 年度までは、地方公共団体金融機構の準備金を活用）
使いみち	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用

※このほか、神奈川県では、水源環境保全・再生のために、個人県民税に対する超過課税を実施しています。

【お問い合わせ】

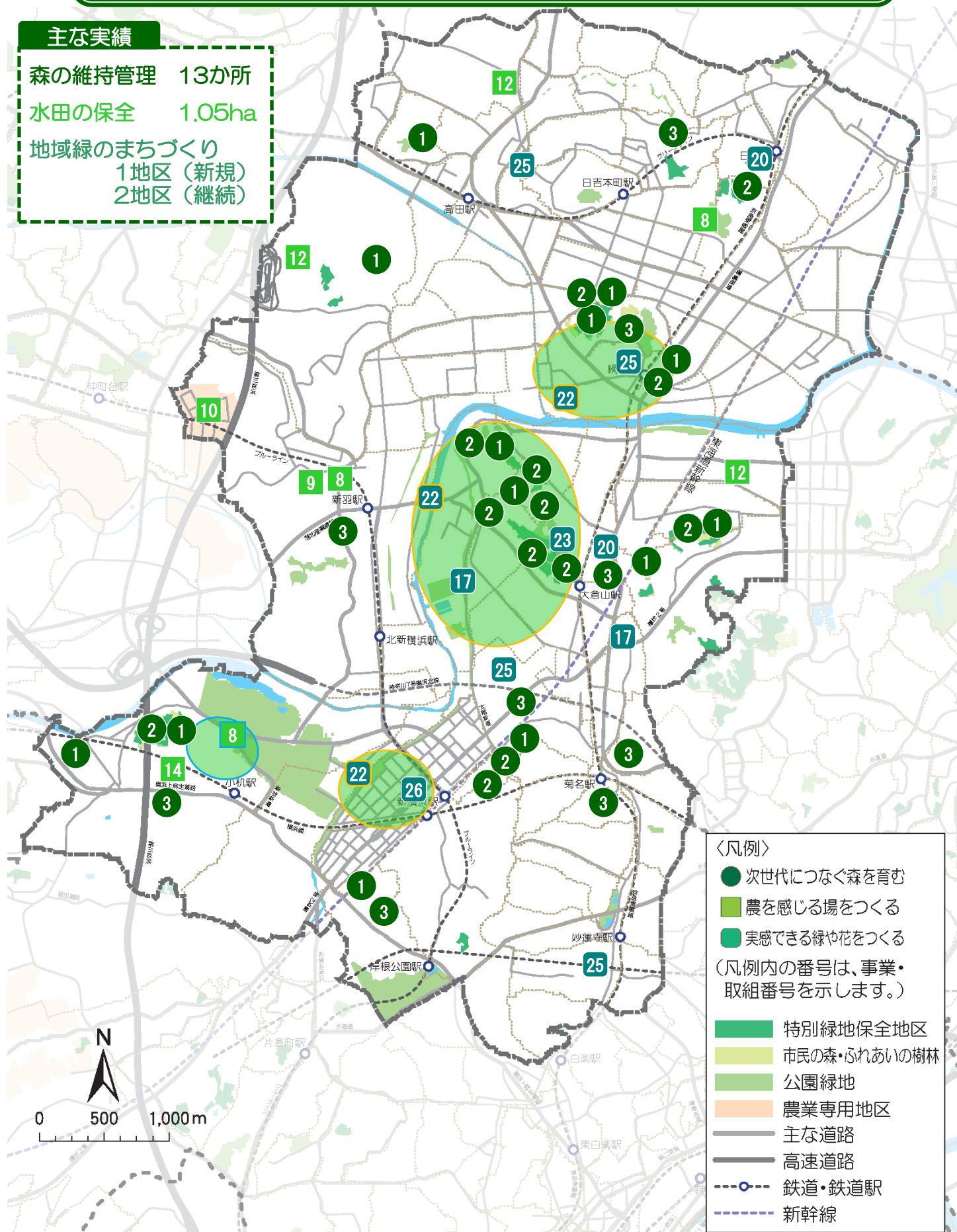
- 「横浜みどり税」について
▶ 財政局税務課 電話：045-671-2253 FAX：045-641-2775
- 「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」について
▶ 環境創造局政策課 電話：045-671-4214 FAX：045-550-4093
- 「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」の各事業について
▶ 環境創造局みどりアップ推進課 電話：045-671-2712 FAX：045-224-6627

港北区

主な実績

森の維持管理 13か所

水田の保全 1.05ha

地域緑のまちづくり
1地区（新規）
2地区（継続）

計画の柱 1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

O1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

緑地保全制度による新規指定

緑地保存地区

0.2ha 大倉山六丁目、岸根町、小机町、師岡町

源流の森保存地区

0.1ha 新吉田町

市による買取り

特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2 地区 熊野神社特別緑地保全地区、小机城址特別緑地保全地区

市民の森等

1 地区 綱島市民の森

公園樹林地部

1 地区 高田西公園

保全した樹林地の整備

4 か所 大曽根台特別緑地保全地区、綱島市民の森、綱島東二丁目緑地、大豆戸緑地

O2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

森の維持管理

維持管理（樹林地）

13 か所 大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地

O3 指定した樹林地における維持管理の支援

維持管理の助成

11 件 菊名五丁目、岸根町（2 件）、小机町（2 件）、下田町三丁目、綱島台、錦が丘、新羽町、大豆戸町、師岡町

計画の柱 2 市民が身近に農を感じる場をつくる

O8 水田の保全

水田保全面積

1.05ha 小机町、新羽町、箕輪町

O9 特定農業用施設保全契約の締結

特定農業用施設保全契約の締結

1 件 新羽町

10 農景観を良好に維持する活動の支援

まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

集団農地維持

10.9ha 新羽大熊農業専用地区協議会

農地縁辺部への植栽

1 件 新羽大熊農業専用地区協議会

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

様々なニーズに合わせた農園の開設

収穫体験農園

0.03ha 新吉田町

市民農園

0.17ha 高田町、樽町三丁目

14 地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

青空市・マルシェ等

1 件 J A小机農産物直売所

計画の柱 3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

緑の維持管理

2 か所 港北区庁舎、港北土木事務所

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

空き樹の補植

低木 450 本

良好な維持管理

環状2号線（新横浜）、環状2号線（師岡）ほか 計 752 本

20 建築物緑化保全契約の締結

建築物緑化保全契約の締結

2 件 大曽根一丁目、日吉本町一丁目

22 地域緑のまちづくり

地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結

新規

1 地区 綱島西地区

継続

2 地区 大倉山地区、新横浜二丁目地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

緑や花を身近に感じる各区の取組

「港北オープンガーデン」の開催支援（新型コロナウイルス感染症の影響でイベント中止）、大倉山観梅会

地域の花いっぱいにつながる取組

花の種の配布、新吉田第一公園ほか 8 か所で花苗の配布

24 人生記念樹の配布

人生記念樹の配布

454 本

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の創出

2 か所 港北保育園、大豆戸小学校

緑の維持管理

3 か所 港北保育園、第二尚花愛児園、高田東小学校

26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

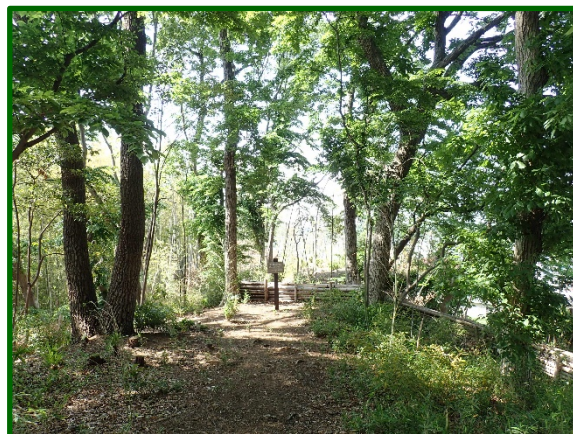
緑花による空間づくりと維持管理

1 か所 新横浜駅周辺



1

緑地保全制度による新規指定
源流の森保存地区（新吉田町）



1

保全した樹林地の整備
（綱島市民の森）



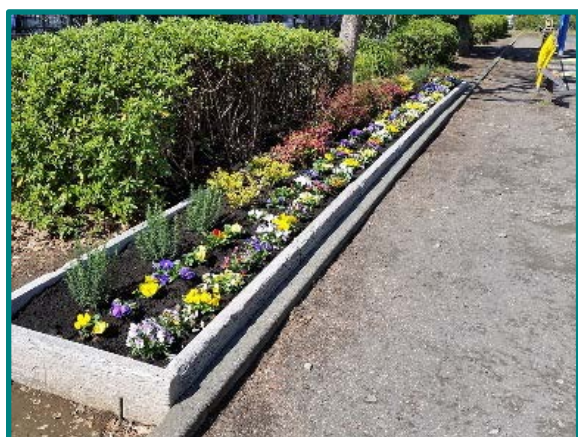
8

水田の保全
（小机町）



12

市民農園の開設
（樽町三丁目）



22

地域緑のまちづくり事業
（大倉山地区）



23

緑や花を身近に感じる各区の取組
（大倉山観梅会）

